平成27年度文化庁メディア芸術アーカイブ推進支援事業

日本漫画家協会所蔵本および資料の調査整理・データベース化事業 報告書

公益社団法人 日本漫画家協会

平成28年3月

目次

第1章　はじめに―公益社団法人日本漫画家協会所蔵の本および資料を整理・データベース化する意義とその書影撮影の意義について（幸森軍也）

第2章　日本漫画家協会所蔵本および資料の整理・データベース化仕様（小田切博）

第3章　本、雑誌の書影撮影段取り（椎名ゆかり）

第4章　資料データベース化の問題点他（池川佳宏）

第5章　今後の展望と課題（小田切博）

付録

執筆者略歴

第1章　はじめに―公益社団法人日本漫画家協会所蔵の本および資料を整理・データベース化する意義とその書影撮影の意義について

幸森軍也

公益社団法人日本漫画家協会は、昭和39年に設立され、平成27年に設立50周年を迎えた。当時新聞雑誌にマンガを発表している風刺マンガ、いわゆる大人マンガ、四コママンガ、ナンセンスマンガなどの職業マンガ家、手塚治虫に代表される子供向けストーリーマンガ家、劇画家、成人マンガ家などあらゆるマンガ家が加入できる団体を目指した。そのため地方の支部も8地域に置き日本のマンガ家を網羅している。この間、漫画会館設立協力やマンガ展の主催、協力、マンガ賞への協力、協賛などマンガ文化発展に積極的に関与してきた。あるいは海外のマンガ家との交流も積極的に行ってきた。

文化庁ではメディア芸術データベースとして平成22年より5か年にわたりマンガに関しても、単行本約25万冊、雑誌約8万冊の情報を収容するデータベースを国立国会図書館、京都マンガミュージアム、大阪府立中央図書館国際児童文学館等から情報を収集して構築した。

しかしながら本協会には上記所蔵館等に収蔵されていない、会員からの寄贈書籍がある。ひとつには会員が収集した書籍、ひとつには会員が自費出版した書籍である。マンガ単行本は現在の商業ベースでの流通が主流ではあるものの、一コママンガや風刺マンガ等はなかなかまとめられ書籍になる機会が少なく、また一般書店では販売されない。また少部数のため現在では入手困難な作品も含まれる。これら本協会所蔵の本を記録することは、日本のマンガ文化資産保存全般のためには重要である。

また設立以来、本協会がかかわった60年代からのマンガ展覧会のポスターやチラシ、開催案内状等が保管されている。ポスターチラシなどの告知媒体は通常はイベント終了後廃棄されるためこれを保存する意識がなく、本協会以外でまとめて保管している組織はほぼない。近年はマンガ研究も進められているものの、まだまだごく一部の研究でしかなくマンガ展、マンガイベント等については手つかずの状態である。本協会の資料をデータベース化することで今後の研究にも多角的に役立てられる。

マンガ関連書籍は小説や学術書籍とは異なり、表紙にもマンガ家が各巻ごとに創意工夫した絵が掲載されている。一目で書籍の内容が判明するのがマンガ本の特徴である。また、グラフィック化された表題やシリーズ名、その他の書誌情報も掲載されており、書影は必須の情報と考える。特にポスター、チラシに関してはそのものが情報といえ、単なる文字情報データベースだけでは足りない。ひとつの展覧会でも絵柄が異なる複数のポスターが制作されたものは文字情報からだけでは区別できない。

ただ、今回デジタル化、データベース化するにあたって問題点も顕在化した。

所蔵された資料の書影はもちろん、ポスター、チラシには複数の著作者がかかわっており、著作権者の複製権許諾なく無断でこれらをデジタル化し、公開できない。寄贈された

書籍やポスター、チラシに関してすべての著作者の許諾を現時点から得ることは物理的に困難である。そのため、日本漫画家協会のホームページ及び季刊の会報に、デジタル化する旨の告知を行い、希望しない者は申し出る(オプト・アウト)処理をした。

約50年にわたる本協会の所蔵の資料は、マンガ書籍を所蔵している他の図書館にはないものも多く、ひとつひとつが非常に貴重なものである。日本の文化として、本協会所蔵の資料をまとめることは、これまで考えられていたマンガ文化とは異なった様相も見えてき、新しい研究テーマも多数内包されている。

第2章　日本漫画家協会所蔵資料調査手順

小田切博

本事業においては実作業前の準備として、本協会内の書庫の状況及び保管されているポスター資料の事前調査をおこない、以下のように調査基準、手順を定めた。

＜1＞本、雑誌

（1）データ採取対象資料

本年度の事業に関しては、本協会倉庫内書籍資料のうち海外出版物を除いたものを調査対象とする。

（2）棚番号設定

整理分類作業の都合上、漫画家協会書庫内の書棚に対し任意のアルファベットで付番した。以下に2015年12月時点での本協会書庫内の状況を示す。

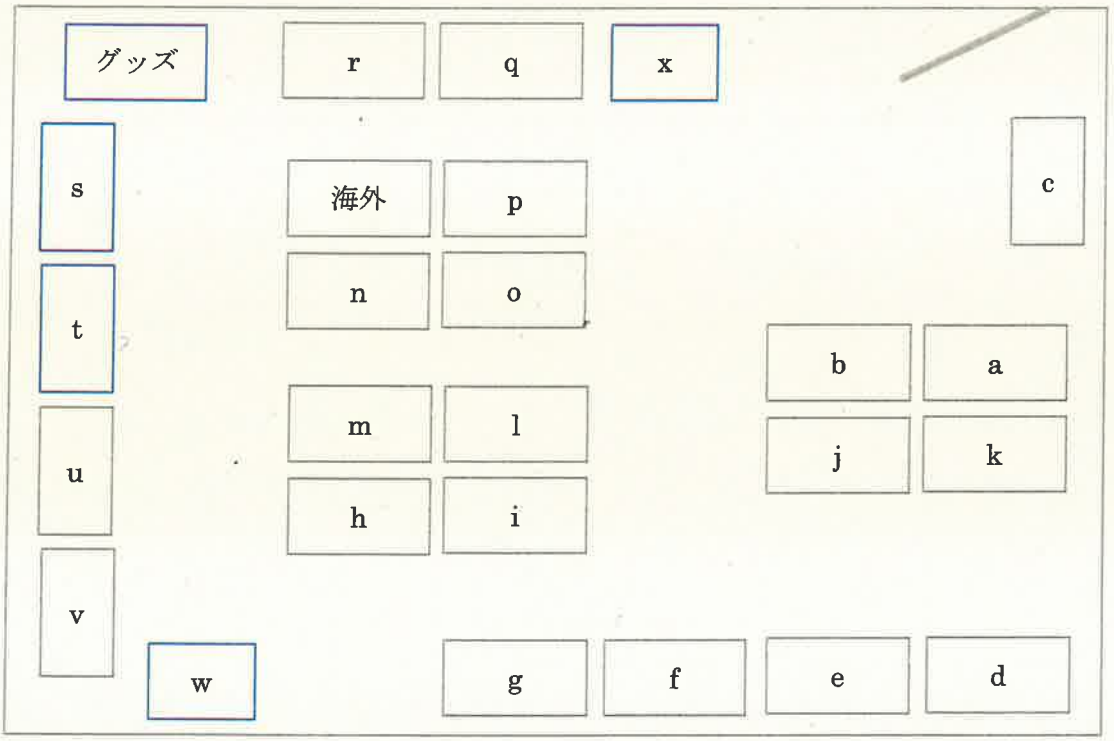

図1【2015年12月時漫画家協会書庫内状況】

＊青枠が本年度新規追加された棚

＊現状の大まかな配置分類

a:絵本　b:図録、資料　c:雑誌　d～o:マンガ単行本　p:研究、資料

q,r:文庫　s,t:雑多　u,v:カートゥーン系全般　w:同人誌

（3）資料分類

本事業においてはメディア芸術データベース「マンガ」部門の分類に従い書庫内資料を

A「単行本」
書籍として発売されたマンガ単行本（ISBNのある雑誌別冊やムック、コンビニコミック、海外版を含む）、関連書籍、研究書、評論、アンソロジーなど
B「雑誌」
マンガ雑誌、一般雑誌、新聞、雑誌付録の冊子、ミニマガジン、学会誌、など
＊ただし版元表示などの関係で「その他の冊子」に分類される場合あり
C「その他の冊子」
同人誌、ミニマガジン、学会誌、カタログ、図録など

の三種に分類する。

（4）漫画家協会内資料ＩＤ

本事業においては個々の書庫内資料に対し以下のような管理ＩＤを付番する。

＜漫画家協会内資料ＩＤ＞
a 00001A（棚番＋書庫内通番数字5桁＋資料分類）
＊このＩＤはモノと1対1対応で設定されたものであり、同一書籍が複数冊収蔵されている場合はそれぞれの書籍に対してＩＤが設定されている。
＊モノ自体の固有性は5桁の通番数字で保障されるため、モノの配架位置が移動する場合は、棚番号を付け替えることで対応する。たとえば資料「a00001A」の配架場所がa棚からd棚に変更になった場合はＩＤが「d00001A」に変更される。

（5）資料データ採取

個別資料にＩＤを付番し、メディア芸術データベースの入力項目にあわせたExcel形式の表にデータ採取作業をおこなう。
入力に当たってはメディア芸術データベース内の登録データを参照することとし、暫定的な処理として割り振ったＩＤを各資料に付箋で貼付することでデータとモノとの紐付けをおこない、データはネット上で共有、確認できるようにした。
不明点、問題点等は基本的にはメディア芸術データベースの基準に合わせ、それでも曖昧なものに関しては適宜基準を定めた。
以下に具体的なデータ入力項目を例示する。

登録番号　漫画家協会内資料ＩＤ

マンガ単行本名　書籍タイトル
マンガ単行本名ヨミ　書籍タイトルのカタカナヨミ
マンガ単行本名追記　サブタイトル等
マンガ単行本名追記ヨミ　サブタイトル等のカタカナヨミ
マンガ単行本別版表示　「愛蔵版」、「完全版」などのバージョン表記
巻　「第一巻」など書籍上の巻数表記
巻ソート　巻数数字表記
責任表示　作者名など
初版発行年(西暦)
初版発行月
初版発行日
単行本レーベル（サブレーベル）　叢書名、レーベル名
単行本レーベルヨミ　叢書名、レーベル名のカタカナヨミ
レーベル番号　叢書、レーベルにおける通番
出版者名　出版社名
出版地　出版された場所
ページ数発行年(西暦)
縦の長さ_横の長さ　サイズ表記
ＩＳＢＮ
言語区分
レイティング　「成年コミック」などのレイティング表示
マンガ単行本備考　発行形態などの情報
版数
刷数
発行年(西暦)
発行月
発行日
価格
版型
館独自の備考

なお、ここに例示した入力項目は基本的にＡ「単行本」に対応したものである。このため、Ｂ「雑誌」、Ｃ「その他の冊子」に関しては異なる場合があり、「単行本」に関してもここでは割愛した項目がある。
より詳細な入力項目に関してはメディア芸術データベースを参照されたい。

（6）登録データの校正

登録したデータを確認し、表記の揺れ、誤字、脱字などをチェックする。

＜2＞ポスター

(1)ポスター種別

ポスターの性質が多岐に渡るためデータ管理用に以下のポスター分類符号を設定した。

1 展示企画（展示企画そのもののポスター）
2 施設告知（たとえば「池袋サンシャインシティ」という施設のポスター）
3 展示以外のイベント（マンガ家が関係する地域イベントなどの告知用ポスター）
4 カレンダー（一枚もののカレンダー）
5 映画ポスター（映画宣伝用ポスター）
6 公募ポスター（なんらかの公募告知用のポスター）
7 アートポスター（純粋なイラストレーションのみで文字要素なし）
8 その他（上記以外）

(2)仕分け

保存されたポスターは同一のものが複数収蔵されている場合があるため、スキャン対象特定のため、スキャン作業前に重複分を選別する仕分け作業をおこなう。

(3)ポスターファイル名仕様

データ管理用にポスターのスキャンファイル名をユニークなものとするため、以下のような仕様を設定した。

＜ポスターファイル名仕様＞
筒番号　001～
ポスター分類符号　上記 1～8
開催年月日　開催年（西暦）4 桁（不明な場合「XXXX」）＋イベント開始日 4 桁（「0101」など開始日を記入、不明な場合は「XXXX」）
バージョン　A～Z（一種類しかない場合「A」を付与）
イベント名等文字要素　イベント名＋開催地（「漫画 100 年展西武」など。イベント名、施設名がない場合はそれぞれのみ、まったく文字要素がない場合はポスター分類名を記載。複数イベント名の記載があるものはもっとも扱いの大きなものをピックアップする。）

例：001-1-19680102A 漫画 100 年展西武
（筒番号：001／分類：1／開催年月日：19680102～／バージョン：A／イベント名：

漫画 100 年展／開催地：西武）

（4）業者選定

業者発注のために（株）二葉企画と(株)寿限無の二社に現状確認のうえそれぞれ事前見積もりを提出してもらい、業者側での仕分け作業に対応可能な(株)寿限無へ発注することに決定した。

（5）受け渡し

ポスターケース（筒）102 個を（株)寿限無へ受け渡し、仕分け、スキャン作業を委託。本年度スキャンデータはハードディスクスキャン済みデータで納品された。

第3章　本、雑誌の書影撮影段取り

椎名ゆかり

＜手順＞

■書影撮影（於漫画家協会　地下倉庫）ふたり１組で行う

使用した機材：カメラ、カメラスタンド、小型テーブル

手順：

（１）蛍光灯の光が入らない位置にテーブルを置き、カメラスタンドを付ける。

（２）ひとりがＡ棚から本が並んでいる順番に１冊ずつ撮影者に渡し、もうひとりはスタンドでサイズを調整しながら書影を撮影（解像度は低めに設定。）

（３）その時、本に挟んである付箋紙の番号（データ入力時に付けたＩＤ番号）が画面に入るように撮影する。

（４）複数冊の本が一つの箱に入っている場合は箱も撮影し、番号がひとつだけ付いている箱の中に複数の本、絵その他が入っている場合も、そのすべてを撮影する。

（５）帯が付いている場合は、帯を付けたまま撮影する。

■書影データ入力（於漫画家協会　３階）

使用した機材：カメラ（スマートカード）、コンピューター、カードリーダー

手順：

（１）カードリーダーでコンピューターに書影を読み込み、作業した日付のタイトルのフォルダーを作成してその中に保存（作業日の入ったフォルダーはデスクトップ上にある「文化庁アーカイブ事業」フォルダーの中に入れる）。

（２）コンピューターに撮影した書影すべてを取り込んだことを確認したら、スマートカードからは書影データを削除。

（３）コンピューター上に取り込んだ書影データをひとつずつ確認しながら、データのタイトルとして、撮影した写真上に映っている付箋紙と同じ番号を付けていく（必ずしも番号順に撮影していないので番号付けには注意が必要）。

（４）番号付けは付箋上のＩＤ番号の５桁の数字のみ付ける。

（５）それぞれ番号の付いた複数の本がひとつの箱に入っている場合は、最初の巻の番号だけ以下のように付ける。

最初の巻の番号 - （半角ハイフン）終わりの巻の番号__（半角アンダーバー）box

（６）番号がひとつ付いている箱の中に本その他、複数のモノが入っている場合。

番号__（半角アンダーバー）a（アルファベットを箱も含めてそれぞれ付ける）

（７）番号を付け終わったら再度、付箋番号と書影のデータ番号が一致するか確認。

＜書影撮影に要した時間＞

■写真撮影（ふたり 1 組で行った）	1 棚（約 80 冊）	約 30 分
■書影データ入力（ひとりで行った）	約 100 冊	約 40 分

第4章　資料データベース化の問題点他

池川佳宏

＜1＞ 本、雑誌

実作業にあたり、今回はMacパソコンで作業を行った。Macでのデータベース入力作業はWindows環境とは若干異なるため、不慣れの場合はソフトやキー操作の習得にやや時間がかかった。また、Macで通常入力する「～」とWindowsで通常入力する「～」は、文字は似ているが文字コードが異なる（データ上では別字扱い）ことがわかったため、Windowsで入力する「～」をMacに単語登録で設定して入力できるようにすることを最初に行った。

後に「メディア芸術データベース」に投入することを想定して、「メディア芸術データベース」で使用している「単行本」「雑誌(巻号)」「その他の冊子」のメタデータ（書誌管理項目）に沿ってExcelの入力シートを作成した。「単行本」と「その他の冊子」については作業者2人に分担してシート入力を行い、「雑誌(巻号)」については別の入力スキルが必要なため、監督者が入力作業を行った。

なお、当初は「メディア芸術データベース（開発版）」に日本漫画家協会アカウントでログインし、データベースを検索して、データベースにあるものはダウンロード、データベースにないものはデータベースへ入力する、という簡便な方法を計画していたが、本協会のアカウント発行が認められなかったためにログインできず、オフラインでのExcel作業となっている。この方法は入力の負担が増えるだけでなく、今後、アーカイブ推進事業の成果を「メディア芸術データベース（開発版）」に反映させるために二重の作業（具体的には、Excelのデータをインポートして、既存のデータとの統合を手作業で行うマージ作業）が発生することが明確であるため、それぞれの負担減のためにもアカウント発行フローについては改善を望みたい。

a棚から想定フローのとおり作業を開始したが、a棚b棚は一般的なマンガ単行本ではない、絵本、教育マンガ、サイズの大きいもの、図録、画集、パンフレットなどが多数あり、入力難易度が高いものが多く、入力のための指導も含めて長時間をかけて作業にあたった。特に、最初の単行本・雑誌・その他の冊子に分けるところから難しいものが多くあり（ISBNのない古い本についての出版者判断など）、改めて判断をしなおすケースもあった。入力については、前述のとおりa棚b棚については一般的なマンガ単行本は少なく、「メディア芸術データベース（開発版）」に登録されていないものが多いため、すべて実物から手入力を行った。規格外の内容が多いため難易度は高いものの、脇で指導者が指導を行うことで入力者のスキルが上昇し、判断力を養うことができた。逆に、これらの資料は稀少度が高く、かつ本協会に特徴的な所蔵資料であるといえる。

なお、「メディア芸術データベース（開発版）」では「分類」の項目は項目のみで実際にはほぼ入力されていないが（今後の拡張として未作業になっている）、今回は本協会の所蔵

データ作業として、必要に応じて「分類」の項目を入れることがあったが、作業者によって判断が分かれることもあり、入力後の再確認が必要である。

d 棚以降については、一般のマンガ単行本が多数であるため、「メディア芸術データベース（開発版）」から抽出し Excel の形にした単行本データを利用し、データがある場合はコピーして入力の手間を省くことを行った。これにより、入力のスピードが上がり、入力ミスも減らすことに成功した。ただしデータベース上の作業でないため、ISBN のない本のデータは書誌の一致を Excel 上で確認することが難しいことから、コピーしての利用は「ISBN のあるもの(1984 年以降のもの)」のみに限られている。また、成人向け作品など、「メディア芸術データベース」にないもの（国会図書館などに納本がないもの）は入力の必要があるため、分野によっては現時点では省力化できないものもあった。

書誌判断が難しいものとして、テレビ番組「プロジェクト X」のコミカライズなど、単行本名を「プロジェクト X」とするか、個々の副題(番組内タイトル)とするかで「メディア芸術データベース（開発版）」内でも統一判断がなされていないものがあった。また、複数冊で構成されているケース入りの本は書誌単位が難しく、これも「メディア芸術データベース（開発版）」上で判断が分かれている場合があった。

入力作業終了後、入力内容について複数人でクロスチェックを行い、誤字や誤入力については実物を確認して訂正した。ただし、「メディア芸術データベース（開発版）」のデータをコピーして入力したデータについては、ヨミの部分など表記の統一がとれていない場合があり（「メディア芸術データベース（開発版）」は複数の所蔵館データを統合しているため、特にヨミについては統一せずあえて複数混在させている）、本協会内で使用する所蔵リストとしては、統一や整形などが必要になる。

なお、今回は作業対象としていないが、別の棚には個人で出版している逐次刊行物があり、「雑誌」や「その他の冊子」の判断が難しいものがある。これらについては、「雑誌」を事前に判断する別のフローが必要になると考えられる。

＜２＞ ポスター

ポスターのスキャン作業については、スキャン作業とファイル名の付与のためのポスター調査を請け負った(株)寿限無にヒアリングを行い、実作業について下記の報告を受けた。

日本漫画家協会よりポスターケース（筒）102 個を受領して作業を行った。ポスターケースは年代の古いものと思われる順に筒番号をふり、ファイル名の番号の一部とした。

筒番号の若いものから順にケースを開き、内容を確認して手順どおりに記録を行った。内容の確認時に、「筒番号」「分類番号」「日付を 8 ケタ化した数値」「バージョン違い(A～Z)」、「名称」「場所」「大きさ」「枚数」「内容に関する備考」「筒に関する備考」を記録し、内容把握とともに重複調査に活用した。スキャン時に確認できるよう、「筒番号」「分類番号」「日付を 8 ケタ化した数値」「バージョン違い(A～Z)」までを付箋に記載し、ポスター

裏に付箋を張り付けて管理番号とした。

今年度の作業として、ポスターケースで81個、ポスターで280種類以上を確認し、249枚のスキャンを行った。

想定されたとおり、ポスターケース（以下、筒）に入っている枚数・種類は決まっておらず、同じポスターが同じ筒に複数存在しているもの、同じポスターが複数の筒に分散しているもの、似た図柄・内容のポスターなどがあり、スキャン対象を選定する作業はやや困難ではあった。似た内容のポスターについては想定されていたことも含めて、下記の点があった。

・同じ開催日のイベントポスターで、図柄が同じで大きさが異なる
・異なる開催日（巡回展など）のイベントポスターで、図柄と大きさが同じ
・同じ開催日のイベントポスターで、メイン図柄に微細な違い（一部キャラクターの有無など）がある
・同じ開催日のイベントポスターで、メイン図柄が同一で広告枠がある、または広告内容が異なる
・大イベント名は同じだが、ポスターが小イベントごとに分けられ、開催日が異なる

これらは、類似の内容ではあるが、前述の付箋に貼った管理番号（「筒番号」「分類番号」「日付を8ケタ化した数値」「バージョン違い(A～Z)」）の段階でユニークなものとして区別が可能であり、ファイル名としての利用に便利である。

しかし、日付については、年月日が一切不明なもの、月日はあるが年が不明なものがあり、その場合は管理番号がユニークにならないことがある。年のみ不明の場合は、ポスター以外の情報として開催日を調査したり、月日と曜日から年を割り出したりしてわかる範囲で補足した。

分類番号については、「その他」の分類として、商品ポスター（今回のケースではゲーム商品のポスター）があり、マンガを利用した商品ポスターを含めて独立した分類などの再検討が必要である。

一部に印刷物のポスターではなく、直筆の水墨画や寄せ書きがあったが今回はスキャン対象外とした。また、B1より大きいサイズ、A3以下のサイズも同様に今回は対象外とした。

その他のイレギュラーな事例として、海外のポスターがある。フランスのほか、ポーランド、ハンガリー、ポルトガルなどがあり、活動として海外との交流を持つ協会ならではの資料であるが、内容の判読・理解が難しいものが多く、記録や分類が不十分になってしまう場合がある。

第5章　今後の課題と展望

小田切博

2015年度の本事業の実施、本協会所蔵資料のデータ化という点については当初の想定からほとんど外れることなく、ほぼ滞りなく実施されたといえる。

まず、この点に関して企画、作業担当者、関係各位の御協力に感謝したい。

ただ、一点だけ大きく当初の予定から外れた点として、本報告書の別項でも触れられている通り、申請当初目的のひとつとされていたメディア芸術データベースへの本協会所蔵書籍資料の登録を実現できなかった点が挙げられる。

したがって次年度以降の本事業の第一の目標は積み残した未登録書籍資料、ポスターのデータ化とともに文化庁メディア芸術データベースへの登録、連携の実現ということになるだろう。

この点はメディア芸術データベースそのものの運営ともかかわるため、本事業単体での課題とはいえないかもしれないが、次年度以降の課題としてはまずこうした積み残し部分の達成を考えるべきだと思われる。

メディア芸術データベースのようなポップカルチャーに関するジャンル、所蔵館を横断した収蔵情報等のネットワークインターフェースの構築はマンガ部門に関してだけでも、資料の所在の確認などの点で研究の基礎を構築するために大きな意義を持っている。

経済的な面だけでなく、国際関係や国の文化政策などで大衆文化が注目されるようになってきたここ20年ほどの流れのなかで、メディア芸術データベースが、本協会に限らずさらに多様な所蔵館のデータを吸収していくことで有用なアカデミックリソースとして発展していくことは、今後のポップカルチャー研究全般の発展、そしてそのことによるポップカルチャーそのものの文化的意義、社会的位置づけの解明という面からも重要な意義を持つといえる。

マンガのような大衆文化は大学等での学問的な研究の対象とされてきた美術や文学のような近代芸術と異なり、社会風俗・娯楽として大衆消費社会・市場の中で流通・消費されてきたものであり、日本に限らず国際的に、学術的な定義づけや理論化、歴史研究の試み自体の歴史が浅い。

特にマンガに関しては映画やＴＶ番組、ポピュラーミュージックなどの他の大衆文化ジャンル・メディアと比較した場合、欧米での市場規模が小さく、国によって事情は異なるが、物語マンガに関しては多くの場合歴史的に「児童向け」というメディアに対する先入観が存在していたこともあって、大衆文化研究の対象としてのマンガ研究の確立・認知自体が全世界的に遅かった。

こうした傾向は世界最大のマンガ市場を持つ日本も例外ではなく、むしろ専門学会の設立という点では2001年の日本マンガ学会の設立はじつはフランス・アメリカはもちろん、

韓国よりも遅い。

こうした研究そのものの後進、未整備状況があるいっぽう、21 世紀初頭にアニメやゲームを介して起きていった国際的な日本マンガ人気の高まり（いわゆる「MANGA ブーム」）は、世界的な「大衆文化研究の未開拓地としてのマンガ（COMICS、BD）」への学術的関心の高まりのなかで、かつてないかたちで海外の研究者や学生たちの「日本マンガ」に対する関心を集めることになった。

欧米、アジアをはじめ、世界各国からの日本の大学、大学院への「マンガ」専攻留学生、マンガ（COMICS、BD）研究者の来日の増加はこうした現状を端的に示すものだといえる。

このような現状において日本のマンガ文化・市場の現状やその歴史的経緯、また個々の作品、作家の表現的特性といったテーマについて内外の研究者同士での対話、議論を可能とする研究・教育環境、そしてそのような環境を実現するために参照可能な研究リソースの構築は、現在マスメディアなどで報じられている以上に潜在的に求められているものだと思われる。

そうした観点からまず必要だと思われるのが、国内のマンガ文化・市場にまつわる俯瞰的な情報・資料の収集と整理であり、この点で国内で現存する最古のマンガ家の業界団体である本協会が所蔵する資料のデータ化とそのデータベースへの組み込みは重要なものだと主張しておきたい。

先にも指摘されているように、戦前・戦中からの新聞マンガ・大人マンガの作家を中心とするマンガ家の業界団体として発足した本協会は、50 年代の児童マンガブーム、60～70 年代の劇画ブーム、80 年代以降のマンガ市場の巨大化に呼応して所属会員を多様化させ、また戦後のマンガ関連イベント、展示等の催事にも積極的にかかわってきた。

この本協会の歩みと変遷には日本のマンガ文化・市場における「マンガ」観やその社会的位置づけの変化がそのまま刻み込まれている。

戦前・戦中を通じた社会運動やジャーナリズムと結びついた政治風刺マンガを中心とするマンガ観から、より美術的な表現主義的なカートゥーンを中心とするマンガ観へ、そして児童雑誌を経由して劇画ブーム以降巨大市場化していく物語メディアとしてのマンガ観に。

原理主義的になにが「マンガ」であるかを主張するのではなく、こうした日本マンガ史固有の「マンガ」観の変遷を歴史的に跡付けようとする場合、戦後日本で「マンガ家」と呼ばれる職業人が新聞・雑誌の一コママンガ家から週刊マンガ誌の作家まで包括的に所属する団体としてあった日本漫画家協会という存在はその存在自体が重要な研究対象である。

この意味で、本事業における「日本漫画家協会所蔵本および資料」とは他のミュージアムや図書館等の収蔵館とは異なり、単に所蔵する書籍や原画といった「モノ」としての資料だけではなく、所属会員の変遷や会報、関連事業や協賛、監修した催事といった団体の活動の歴史そのものが貴重な資料なのだといえる。

このため、本事業の今後の展開としては、現在進行している所蔵書籍の書誌やポスター等のデータ化にとどまらず、こうした日本漫画家協会の歴史そのものを跡付け、データ化、アーカイブ化していく方向に拡張していくことが望ましいと思われる。

本年度、試験的におこなった要素として、スキャンしたポスターからのデータ抽出があるが、たとえば同じようにチラシや葉書などといった紙資料からデータ抽出をおこない、ポスターからの情報とそれらを複合したかたちで過去の催事の記録を作成する。

また、過去の催事や会合などで撮影された写真、寄せ書きなどをデータ化し、イベント内容、時期や場所、出席者などをヒモづける作業をおこない、記録として活用可能なものにしていく。

過去の会員名簿や会報内容の電子化とその目次・書誌情報のデータ化なども必要だろう。

無論、こうした作業をおこなっていく場合、個人情報保護の問題などもあり、情報全てが一般公開可能なものになるわけではないが、逆にいえばこのような作業を介してデータを整理することで、研究者や一般にアクセス可能なリソースとして公開可能な情報の範囲もはっきりしていくはずだ。

特に催事関連の資料や写真などの伝記的な資料は本協会固有の貴重な資料であり、電子化と整理、調査を進めることで、将来的には大学等の研究者などを交えたシンポジウムの開催や博物館展示的な企画として一般公開するなど、先にも述べたような日本漫画家協会という団体そのものの歴史的意義性を具体的に示し、本事業の成果を社会還元するようなあり方を目標としたい。

付録

１．書籍データサンプル

番号	フセン	棚	単行本/雑誌/冊子	マンガ単行本名	巻	責任表示	出版者名	単行本レーベル(サブレーベル)	備考	価格	館独自の備考
00001	a00001A	a	A	新勉強まんが	1	秋玲二	毎日新聞社		箱付き3冊組のうちの1冊	950円	サインあり
00002	a00002A	a	A	新勉強まんが	2	秋玲二	毎日新聞社		箱付き3冊組のうちの1冊	950円	
00003	a00003A	a	A	新勉強まんが	3	秋玲二	毎日新聞社		箱付き3冊組のうちの1冊	950円	
00004	a00004A	a	A	勉強マンガ	1	秋玲二	毎日新聞社		ハードカバー	650円	
00005	a00005A	a	A	勉強マンガ	2	秋玲二	毎日新聞社		ハードカバー	650円	
00006	a00006A	a	A	勉強マンガ	3	秋玲二	毎日新聞社		ハードカバー	650円	
00007	a00007A	a	A	勉強マンガ	4	秋玲二	毎日新聞社		ハードカバー	650円	
00008	a00008A	a	A	勉強マンガ	5	秋玲二	毎日新聞社		ハードカバー	650円	
00009	a00009A	a	A	よっちゃん・あつ子ちゃんの勉強まんが	1	秋玲二	あゆみ出版		ハードカバー	1300円+税	サインあり
00010	a00010A	a	A	よっちゃん・あつ子ちゃんの勉強まんが	2	秋玲二	あゆみ出版		ハードカバー	1300円+税	サインあり
00011	a00011A	a	A	社会科まんが日本のんびり旅行	4	秋玲二	さ・え・ら書房			850円	
00012	a00012A	a	A	社会科まんが日本のんびり旅行	6	秋玲二	さ・え・ら書房			850円	
00013	a00013A	a	A	社会科まんが日本のんびり旅行	6	秋玲二	さ・え・ら書房			850円	
00014	a00014A	a	A	あまんじゃくがやってきた		[作]いわまりこ／[絵]茨田茂平	岩崎書店		ハードカバー	880円	
00015	a00015A	a	A	夢どろぼうをおいかけろ		[作]いわまりこ／[絵]茨田茂平	岩崎書店		ハードカバー	880円	
00016	a00016A	a	A	駅前のギター弾き		[文]神津良子／[絵]上原ゆう子	郷土出版	おとなと子どものための童話絵本	ハードカバー	1600円+税	
00017	a00017A	a	A	桃の花が咲いたら		[文]神津良子／[絵]上原ゆう子	郷土出版	おとなと子どものための童話絵本	ハードカバー	1600円+税	
00018	a00018A	a	A	灰色猫のひみつ		[文]神津良子／[絵]上原ゆう子	郷土出版	おとなと子どものための童話絵本	ハードカバー	1600円+税	
00019	a00019A	a	A	イソップものがたり		[文]大石真／[絵]宇野文雄	ポプラ社		ハードカバー	750円	
00020	a00020A	a	A	心をみがくことば論語		[著]八木章好／[絵]すずき大和	国土社		ハードカバー	2000円	
00021	a00021A	a	A	時をこえるうた漢詩		[著]八木章好／[絵]すずき大和	国土社		ハードカバー	2000円	
00022	a00022A	a	A	おばけのはなし	1	[文]寺村輝夫／[画]ヒサクニヒコ	あかね書房	寺村輝夫のむかし話	ハードカバー	680円	
00023	a00023A	a	A	日本むかしばなし	2	[文]寺村輝夫／[画]ヒサクニヒコ	あかね書房	寺村輝夫のむかし話	ハードカバー	680円	
00024	a00024A	a	A	おにのはなし		[文]寺村輝夫／[画]ヒサクニヒコ	あかね書房	寺村輝夫のむかし話	ハードカバー	680円	
00025	a00025A	a	A	てんぐのはなし		[文]寺村輝夫／[画]ヒサクニヒコ	あかね書房	寺村輝夫のむかし話	ハードカバー	680円	
00026	a00026A	a	A	吉四六さん		[文]寺村輝夫／[画]ヒサクニヒコ	あかね書房	寺村輝夫のとんち話	ハードカバー	680円	
00027	a00027A	a	A	河童の妙薬		[文]小沢さとし／[絵]橋爪まんぷ	白鳥舎		ハードカバー	1000円	献本状付き
00028	a00028A	a	A	怪人ジャガイモ男／トンカチおじさん		長新太	話の詩集		ハードカバー／リバーシブル仕様	750円	サイン入り

＊本年度入力冊数: 3437冊

＊表記凡例:

番号: 通番　フセン: 漫画家協会内資料ID　棚: 棚番号

単行本／雑誌／冊子:メディア芸術データベースでの分類

マンガ単行本名: 書名　巻: 巻数　責任表示: 作者名　出版者名: 出版社名

単行本レーベル(サブレーベル): 叢書名・レーベル名など

備考: データ入力作業上の備考　価格: 価格　館独自の備考: 収蔵館における収蔵物に関する備考

２．書影データサンプル

＊本年度撮影書影データ数:1041

＊ファイル名表記凡例:

登録 ID:　通番５ケタ

ボックスセット:　最初の巻の ID -（半角ハイフン）終わりの巻の ID_（半角アンダーバー）box

付録等同梱のコレクターズエディション:　ID_（半角アンダーバー）a～（箱含め同梱されたものに任意に付与）

３．ポスターデータサンプル

ファイル名	分類	期間8ケタ	バージョン	名称	場所	大きさ	備考	筒の備考
001-1-19680102A_明治から未来へ漫画100年日本漫画家協会第1回展.tif	1	19680102	A	明治から未来へ漫画100年日本漫画家協会第1回展	西武SSSホール	B1	シルクスクリーン　年は筒から	中敷き2枚あり
001-1-19680201A_明治から未来へ漫画100年日本漫画家協会第1回展.tif	1	19680201	A	明治から未来へ漫画100年日本漫画家協会第1回展	阪神	B1 76.0×52.5	シルクスクリーン　年は筒から	
002-1-19860720A_世界まんが博.tif	1	19860720	A	世界まんが博	大阪駅前西梅田広	B1		
003-1-19860720B_世界まんが博.tif	1	19860720	B	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B1	B～GはAと図柄が共通で広告が異なる。Bは広告なし12枚	追加でAも1枚あり
003-1-19860720C_世界まんが博.tif	1	19860720	C	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B1	B～GはAと図柄が共通で広告が異なる。Cはハドソン広告1枚	
003-1-19860720D_世界まんが博.tif	1	19860720	D	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B1	B～GはAと図柄が共通で広告が異なる。Dは国鉄広告1枚	
003-1-19860720E_世界まんが博.tif	1	19860720	E	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B1	B～GはAと図柄が共通で広告が異なる。Eは大阪ガス広告2枚	
003-1-19860720F_世界まんが博.tif	1	19860720	F	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B1	B～GはAと図柄が共通で広告が異なる。Fは関西子供服専門店協会広告1枚	
003-1-19860720G_世界まんが博.tif	1	19860720	G	世界まんが博	大阪駅前西梅田広場	B1	B～GはAと図柄が共通で広告が異なる。Gはカプコン広告1枚	
003-1-19860720H_世界まんが博.tif	1	19860720	H	世界まんが博	大阪駅前西梅田広	B3 横	Hは国鉄の企画切符発売ポスター	
005-1-19910730A_まんが大博覧会作家500人展.tif	1	19910730	A	まんが大博覧会 作家500人展	池袋サンシャインシ	B2	AとBは図柄が共通　3枚	
005-1-19910730B_まんが大博覧会作家500人展.tif	1	19910730	B	まんが大博覧会 作家500人展	池袋サンシャインシ	B1	AとBは図柄が共通　4枚	
005-3-19910801A_KURAKURA!KAMAKURA1991Summer第3回ビーチ・カーバニル.tif	3	19910801	A	KURAKURA! KAMAKURA 1991 Summer 第3回ビーチ・カーバニル	鎌倉（材木座）	B1	3枚	
006-1-1986XXXXA_ContemporaryJapaninthe DrawingsofJapaneseCartoonists.tif	1	1986XXXX	A	Contemporary Japan in the Drawings of Japanese Cartoonists	ポーランド	B1 93.0×66.8 横		
007-1-19890325A_YES'89横浜博覧会告知.tif	1	19890325	A	YES'89 横浜博覧会 告知	横浜	B1	日付は横浜博覧会の開催予定日。左半分はユニホームデザインの公募告知がある。	
007-1-19890325B_YES'89横浜博覧会.tif	1	19890325	B	YES'89 横浜博覧会	みなとみらい21地	B1		
007-1-19890325C_YES'89横浜博覧会.tif	1	19890325	C	YES'89 横浜博覧会	みなとみらい21地	B1		
008-1-19910730C_まんが大博覧会作家500人展.tif	1	19910730	C	まんが大博覧会 作家500人展	池袋サンシャインシ	B2	AやBとは図柄が異なり、NTTの広告が入る。	
008-3-19911101A_第3回全国生涯学習フェスティバルまなびピア'91inOITA.tif	3	19911101	A	第3回全国生涯学習フェスティバル まなびピア'91 in OITA	（大分県の各地）	B2		
008-3-19920812A_第1回全国高等学校漫画選手権大会まんが甲子園.tif	3	19920812	A	第1回全国高等学校漫画選手権大会 まんが甲子園	高知ちぱさんセンター	B2		
009-3-19890803A_UkiUki!KAMAKURA1989Summer'89ビーチ・カーバニ	3	19890803	A	UkiUki! KAMAKURA 1989 Summer '89ビーチ・カーバニル	鎌倉（材木座）	B1		
010-3-19900802A_SuiSui!KAMAKURA1990Summerかまくらビーチ・カーバニル.tif	3	19900802	A	SuiSui! KAMAKURA 1990 Summer かまくらビーチ・カーバニル	鎌倉（材木座）	B1		

＊本年度作業対象:　ポスターケース 81 個、スキャン実施 249 枚

＊表記凡例：

ファイル名:　スキャンデータファイル名

分類:　1 展示企画　2 施設告知　3 展示以外のイベント　4 カレンダー　5 映画ポスター　6 公募ポスター　7 アートポスター　8 その他

期間８ケタ:　年４ケタ＋月２ケタ＋日２ケタ　　バージョン:　同一催事ポスターのバリエーション表示 A～

名称:　ポスター内容　場所:　開催地　大きさ:　サイズ表記　備考:　ポスターに関する備考

筒の備考:　ポスターケース記載備考

4．ポスターデータサンプル

＊ポスターファイル名仕様

筒番号：　001～　ポスター分類符号：　1～8　開催年月日：　開催年（西暦）４桁＋イベント開始日４桁

バージョン：　A～　イベント名等文字要素

執筆者略歴

幸森 軍也（こうもり いくや）

1961 年生まれ。関西大学商学部卒業。作家。マンガ研究者。現在、大阪芸術大学客員教授、専修大学非常勤講師。著書に「そして、またひとり…」「あなたの待つ場所」(角川ホラー 文庫)「マンガ大戦争」「ゼロの肖像」(講談社)など。

小田切博（おだぎり ひろし）

フリーランスライター、アメリカンコミックス研究家。1968 年、横浜生まれ。著書『誰もが表現できる時代のクリエイターたち』『戦争はいかに「マンガ」を変えるか』『キャラクターとは何か』。共編著『アメリカンコミックス最前線』（小野耕世共編）。松陰大学非常勤講師。

池川 佳宏（いけがわ よしひろ）

株)寿限無 文化庁メディア芸術デジタルアーカイブ事業マンガ分野コーディネーター(2011～2014 年)。出版社・IT 企業勤務後、(株)コンテンツワークスにて、講談社・小学館などと提携する絶版コミックオンデマンド復刊サービス「コミックパーク」の運営を担当し、8000 冊のマンガを復刊。2011 年度より、(株)寿限無にて「文化庁メディア芸術デジタルアーカイブ事業」のマンガ分野コーディネーターを担当し、マンガ所蔵機関が持つマンガのデータベースを作成している。

椎名 ゆかり（しいな ゆかり）

アメリカ・オハイオ州ボーリング・グリーン州立大学大学院ポピュラーカルチャー専攻修士課程修了。英語圏のコミックス翻訳者。平成 23 年度～25 年度、文化庁芸術文化課研究補佐員。訳書に『ファン・ホームーある家族の悲喜劇ー』、『ブラック・ホール』『デイトリッパー』（以上、小学館集英社プロダクション）他。東京藝術大学非常勤講師。